多様な性の在り方と、幸せと人生と笑いを考える、にじいろたまご通信！

にじたま

Vol .1

スクランブルエッグ

発行年月　2009 年 7 月
発行元　スクランブルエッグ
編集部

＜発刊にあたって＞

手にとってくださってありがとうございます！
『にじたま』は、セクシュアリティ（性の在り方）に関わらず、誰もがより良く生きていける社会を願い、創刊されました。

異性愛、同性愛、性同一性障害、IS等…性は、生まれながらにして多様です。しかし誤った認識により、差別を受けたり、いないことにされている人達がいます。是非ご一緒に、多様な性の在り方と生き方を考えてみませんか？

目次

- 発刊にあたって
- 県内・東北イベント情報
- 特集コーナー
「セクシュアルマイノリティって？」
- ミニ解説コーナー
- 対話コーナー
- ★にじたま Smash Hit★
- 創のつぶやき

県内・東北イベント情報

★7/19（日）　Anego Tea Party
～『浴衣』男浴衣の着付け教室付き～【仙台市】
主催：Anego　http://blog.canpan.info/anego/

★7/25（土）　第4回青森インターナショナル LGBTフィルムフェスティバル【青森市】
主催：青森インターナショナル LGBT フィルムフェスティバル実行委員会　http://www.aomori-lgbtff.org/

★9/5（土）　講演会「女だって、男だって、生き生きと暮らしたい秋田をつくろう!」【秋田市】
主催：性と人権ネットワーク　ESTO
http://akita.cool.ne.jp/esto/

★9/6（日）　ぼくらの課外授業-Living Together in SENDAI-vol.3【仙台市】
主催：やろっこ
ぼくらの課外授業 HP
http://extrastudy.web.fc2.com/event.html

★9/13（日）　弘前 IDAHO メッセージ展【弘前市】
主催：スクランブルエッグ
http://www.geocities.jp/gochamazetamago/

※詳細は各団体にお問合せください。

みなさんの投稿で創る

にじたま 特集コーナー

今回のテーマは、「セクシュアルマイノリティって？」です！

セクマイさんやアライさんが感じたこと、体験したこと、知らなかったこと、気付いたこと、etc…色んな角度から、みなさんにセクマイについて語っていただきました。

同性愛とは時に自分を酷く傷つけるものだし悩むけれど、その自分らしさを受け入れられたとき、もっと自分自身を好きになれる気がします。一人で悩むより歩き出して、仲間や大切な人と泣いたり笑ったりそうやって過ごせたほうが今の私は幸せなんです。勇気を出してみた結果、友達はみんな私のことを理解してくれています。それでも一緒にいてくれます。だってあなたはあなただから好きだよっていってくれる人、見つけませんか？

めぐ子/弘前市/19 歳/大学生/バイ

私の友人はセクシャルマイノリティだ。だが、どこも少なくもないし余ってもいない、ただ一つの人格である。この感覚と、世間にとってのセクシャリティの奇異さ・セクマイという考え方とは、どうしても一致しない。故に私は「セクシャルマイノリテイとして生きること」を真には理解できていない。セクマイとして友人が分離されることを受け入れられないのだ。少数派であれ、多数派であれ、誰であれ、個人として自由に生きてほしい。

さくぽん/弘前/30 歳/社会人/？

私は、ノンカウ、ノンホル、ノンオペの MTF（女性になりたい男性）です、女装外出も出来る様になりましたが、女装で出かけるのは、セクマイ関連のイヴェントの時位です、GID に関与している医療機関は未だ少ないですが、医療機関を充実させて欲しいです。

Mylène /岐阜県/
セクマイ東海、レインボーぎふ/MTF

相手が異性であっても、同性であっても、自分の心が『好き』と感じる人の傍にいる時間は、誰もが幸せな瞬間なんだと思います。
セクシュアルマイノリティって周りとは違うと思ってたけど、意外と根本は同じみたいです（笑）

愛浬/青森/23 歳/たまご/ビアン

注：名前/地域/所属/セクシュアリティ（左から）

私は同性愛者なんですが、セクマイである事は自分にとってそんなに重要な問題ではないと感じています。自分が同性愛者だと認められずに真剣に悩んでいた時期もありましたが、「私はこれでいいんだ」と思うようになったからです。
色々な悩みはありますが、友人にも恵まれ、学びたい事の勉強もできて、私は今幸せです。

西/東北地方/21 歳/大学生/ビアン

男にも女にも成り切れない、中途半端な僕。でもそれが本当の自分。男でもあり女でもある。それも自分。だから僕は、どっちにしようなんて悩む事を止めた。自分の思うままに、自分が楽に生きる事を選んだ結果が FTX だった。どっちなんだろうと悩む時もあるけれど、結局どっちでもねぇやって最後にはそこに行き着く。
女である事、男でもある事、そのどちらも受け入れたら凄く楽になった。今は、自分は自分なんだと思える事に満足している。

シュウ/青森県南部/30 歳/社会人/FTM 寄り FTX

自分を受けとめれるところまでやっときたかなと最近思いました。世間はまだまだ否定的だけれど、人を愛することに男女関係ないなと思うことが年齢を重ねるたびに増えてきたからです。あきらめないってことが、とても大事だと思います。
セクシャルもその人自身の立派な個性であり、生き方なんだと思います。それでも落ち込んだりつらさを感じてしまうことが多々あるけれど、抱え込まないで誰もが笑顔でいれる世界になってほしいです。

アネモネくん/23 歳/ゲイ

″自分らしさ″を大切に…人に言われたから進む道じゃない・自分で決めて進む道

泰司/東北/RISE/FTM

同性愛は決して異常なものではないとおもう

いーけー/25 歳/女

パートナーとは遠距離ですが、青森で会う時に相手に必ず言われる事があります。青森は公衆で普通に恋人の会話が出来ない、チラチラと視線を感じたり、コソコソと言われてると…それは私も以前から思っていて、おおっぴらにイチャイチャ(笑)出来ません。私も地元な為周りの目を気にしてしまい…相手にはとても悪い事をしたなぁと毎回後悔します。青森は閉鎖的な場所なんで、周りの目が第一になってしまい窮屈な感じで過ごしてます…

ヒカリ/青森/20 代/ビアン

セクマイってホントに『少数派』ってだけで、他は、全然みんなと変わらない。普通の１人の人間。特別な人じゃなくて、『個性的な人』です。色々と不便な事はあるけど、それは不幸な事ではないと僕は思っています。むしろ、こういう風な個性を持って生まれて来て、他の人には体験出来ない、感じる事が出来ない事がわかるから、人より 2 倍幸せです。
これからも、『個性的』な１人の人間として、楽しく明るく元気に過ごして行きま～す。

サトル/千葉/32 歳/FTM

僕の存在は間違ってるのだと、ずっと思っていた。でもある時、僕は存在していていいのだと知った。自分の価値を知った。イノチの輝きを知った。そこに存在していることの、尊さを知った。
最高の人生だ。ここに在ることを誇りに思おう。僕の自分探しはまだまだ続くけれど、僕はもう一人ではない。感謝。そしてあなたの幸せを願う。

創/青森県/30 歳/アルバイト/トランスジェンダー

小学生のころ「スカートはくの嫌、情けない」といったことを申し、母からひっぱたかれました。
「普通」ってなんだろう？　それは幻ではないでしょうか。奇をてらうのではなく、本心に逆らってまで周囲と同じ「心」にならねばいけないのでしょうか？
苦もなくなれるのならそれでいいでしょうが、そうはいかぬことはあるものです

白河/熊本県/社会人/
クエスチョニング（FtMtX？自信無し）

私の母親が、娘は女性を好きだという事実を初めて知ったとき、開口一番に発したのは「気持ち悪い」の一言でした。浴びせられた蔑視とその６文字は、当時の私に重くのしかかりました。結局私の話は一切聞いてもらえず、それから現在まで、双方は何事もなかったかのように振る舞っています。暗黙の了解として、互いに件については触れません。親子間で歩み寄る勇気は、とうの昔に忘れました。和やかな亀裂は、年々広がる一方です。

えり/大学生/ビアン

自分がいわゆるセクマイだってことで、ままならないことが色々あったし、今も、これからも間違いなくあるけど、でもそうでなければ良かったかというと、そんなこともないと今は思う。そうでなかった自分は、その辺に、目には見えないけど、時に致命的な凸凹や壁があることを痛感できただろうか。感知していないものも含めて。今より無神経で、想像力に乏しい自分なら、私はその方が嫌だ。

ノリスケ/岩手県/24 歳/大学生

ミニ解説コーナー

みなさんは「セクシュアルマイノリティ」（略してセクマイ）という言葉を聞いたことがありますか？？
日本語では「性的少数者」で、ゲイ・レズビアン（同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー、インターセックス（身体の性がどちらとも分けられない人）、クエスチョニング（セクシャリティに迷いを感じる人）など、「性」の在り方や特徴が多数者(マジョリティ)とは異なる人達のことを指します。
頭文字をとってLGBT、LGBTIQ と言うこともあります。
これらは治療すれば治る”病気”でもなければ、趣味や嗜好でもなく、自然に持って生まれたものです。
セクマイは「30 人に１人」といわれることもあります。ひょっとしたらあなたの周りにも・・！！

たまご隊員による

対話コーナー

＜今号の担当＞

R＝亮太・・・たまご家長男★

H＝ひろ・・・見た目は子供実は大人☆

K＝奏夜・・・年下だけど姉御肌♪

R: じゃぁ好きなタイプで。

H: 可愛くてちっちゃくて細い人。

R: わぁは、ほっとけない人、守ってあげあげたくなって細くない人(笑)

全: ははは(笑)

R: んで、ちょっと背が高め。わぁの肩くらいにいる人。小さいとぶつかりそうじゃん？あれ？どこいった？的な(笑)

H: じゃぁ奏夜で。

K: 眼鏡かけてて背高くて、甘えれる人。けど、好きになった人ってタイプ？

R: タイプの人と付き合ったことない。

KH: あぁ・・・

R: 付き合った人に悪いけど、あぁこの人絶対わぁのタイプないなって人と付き合ってきた。結局中身なんだよな。でも今まで付き合った人の中でこれは一緒だなってのあるよ。多分好きになる人は一緒なんだよ。

K: わぁでいう眼鏡似合う人みたいな？

R: そうそう。探せばあるんだって。外見も中身も違うけど、これ一緒だなってどっかにあるんだって。

R: ひろは？どこが可愛いの？

H: え、どこが・・・ちょっと変わってる人？

R: え？

H: 考え方が人と違う人。

R: …それって可愛いの？

H: なんか・・・

R: あ、そこが可愛いのか。

H: そう、何言ってんの？お前。みたいになるのが可愛い。

R: なんとなくわかったかも。

H: 全然分かんないかんじが可愛い。

R: いいかも、そういうの。

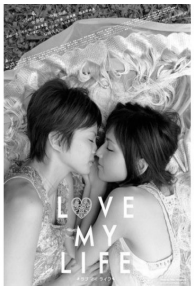
K: そういうのわかるかも。

R: わぁも共感。可愛いなぁって感じでしょ？

H: へへへ(笑)

★にじたま Smash Hit★

『LOVE MY LIFE』日本／2007



大学生活満喫中の泉谷いちこ（吉井怜）が恋したのは、弁護士を目指すエリー（今宿麻美）。そう、女の子なのです！！母亡き後、いちこと二人で暮らしてきたパパ（石田衣良）は驚きながらも理解してくれる。そんなパパから、突然の告白・・・「パパ、ゲイなんだ。それにママはレズビアンだった。」

やまじえびねの漫画が原作。お気に入りは、二人のお買いものシーン♪ 女の子同士だとこういうのが楽しいんだよねー。主役の二人以外にもゲイ・レズビアン役がたくさん登場します。ゲイ・レズビアンの日常がちょっとわかる！？かも。セクマイ当事者じゃないみんなにもぜひみてほしい作品です☆（ひろ）

創のつぶやき

地面に足をつけてさ、ドキドキしながら一歩踏み出してみた。そしたらいつの間にか、隣を歩く仲間が増えていた。笑い合ってたら、次の一歩も踏み出せる気がした。
そうやって歩き始めた、当たまご(≧m≦)

次号は誰かな？

編集後記

にじたま記念すべき第一回の刊行に協力できたことを嬉しく思います。いや～、たまごの活動はいっつも楽しいですが、今回のにじたま作りも楽しかった！！特に対談とかねw 諸々の都合でカットした部分をお見せできなくて残念です（＞皿＜＊）手に取ってくださったみなさんありがとうございます！！次号もお楽しみに☆

学生部長：ひろ

慣れない編集で見づらい所も多々ありますが、少しでも誰かに伝わればいいな。と思いながらここまできました。

にじたま発行にあたって、投稿して下さった皆様はじめ、スタッフやご家族、たくさんの人にご協力して頂きました。

本当に有難うございました。

編集長：奏夜

セクシュアルマイノリティ・ボランティアサークル
スクランブルエッグ
http://www.geocities.jp/gochamazetamago/